

# 富山経協



サラセニア (解説・18ページ)

## CONTENTS

- 2 第80回定時総会 (報告)
- 4 理事会 (報告)
- 5 理事就任のご挨拶
- 6 講演会 (要旨) 「日本を取り巻く世界経済・安全保障情勢」
- 8 調査報告  
2025年春季賃金改定状況調査〈最終集計〉
- 10 Top Interview  
立山電化工業 園晶雄社長
- 12 人事労務管理INFORMATION
- 14 事業活動報告
- 14 委員会活動
- 15 講座・セミナー
- 16 参加者NOTES
- 18 会員の動き
- 18 新会員の紹介
- 19 労働指標
- 20 おしらせ・事業予定

# 第80回 定時総会

一般社団法人富山県経営者協会の第80回定時総会は5月28日(水)、富山国際会議場2階で、会員総数451社中、出席117社、委任状提出23社、議決権行使270社の計410社により開催した。

定刻に至り、開会を宣言し、本定時総会が有効に成立している旨を報告し、定款第15条により山下会長が議長となり、7件の議案について審議し、いずれも異議なく満場一致で承認された。(議事内容は3～4頁に掲載)

議事に先立ち山下会長より、今年の総会以降に叙勲・褒章を受章された方の紹介があり、叙勲受章者の松村浩史氏(株松村精型代表取締役社長)と小島伸也氏(社会福祉法人わかば福祉会理事長)が紹介された。



締役社長)と小島伸也氏(社会福祉法人わかば福祉会理事長)が紹介された。



## 講演会

総会終了後、同会議場3階メインホールで、ロールシャッハ・アドバイザー(株)代表取締役、東京国際大学副学長のジョセフ・クラフト氏から『日本を取り巻く世界経済・安全保障情勢～今後の動向を読み解く～』と題して講演をいただいた。

(講演要旨は6頁掲載)

## 懇親会

懇親会は、ANAクラウンプラザホテル富山・鳳の間で開催した。

開会にあたり、山下会長が本日の懇親会開催への思いを述べた後、「今年1月トランプ大統領となり、各国は彼のディールにいかに対応するかが課題となっている。一方、膠着していたウクライナの問題が動き始めた。適切な価格転嫁はなかなか進まず、業界全体での取り組みが重要と考える。当協会の活動に引き続きご理解とご協力をお願いしたい」と挨拶した。来賓を代表し佐藤副知事から祝辞をいただいた。その後、中西副会長の発声で乾杯を行い、和やかな懇談が進み、大門副会長の中締めをもって終了した。



山下会長



佐藤副知事



中西副会長



大門副会長



## 議事

### 第1号議案 2024年度事業報告の件

定時総会は、5月23日に開催し、2023年度事業報告と財務諸表、県に提出する公益目的支出計画実施報告、2024年度事業計画と損益予算、理事の選任について審議し、承認された。理事会は書面理事会を含め、6回開催した。事業推進機関会議は、3月7日に幹事会を開催した。会員懇談会は、7月に西部地区、9月に富山地区、11月に東部地区と3回開催した。広報調査活動は、機関誌を7回発行した。調査活動は、定期調査を7回、経営課題調査を2回実施した。講座・セミナーは54回開催し、1,966名が参加した。

### 第2号議案 2024年度財務諸表承認の件

#### ・貸借対照表

##### (資産の部)

流動資産	137,542,681円
固定資産	9,207,927円
資産合計	146,750,608円

##### (負債の部)

流動負債	5,970,395円
固定負債	1,535,250円
負債合計	7,505,645円

#### ・正味財産増減計算書

##### (一般正味財産増減の部)

経常収益計	115,194,649円
経常費用計	115,637,098円
経常増減額	△ 442,449円

##### (経常外増減の部)

経常外収益	0円
経常外費用	0円
経常外増減額	0円
一般正味財産増減額	△ 442,449円
一般正味財産期末残高	139,244,963円

### 第3号議案 公益目的支出計画実施報告の件

公益目的財産額の確定額171,314,841円を19年間でゼロ円とする公益目的支出計画に基づき、今年度支出計画収支差額△9,345,000円に対して、実績は△6,459,675円となった。

第1号議案、第2号議案、第3号議案に関し、監事の中沖雄氏（富山銀行代表取締役頭取）から「その内容は正確かつ妥当」との監査報告が行われた。

以上、3議案について、異議なく満場一致で承認された。

### 第4号議案 2025年度事業計画（案）審議の件 〔2025年度事業方針〕

世界経済および日本経済の先行きは、米国トランプ政

権発足による米中対立のさらなる激化、アメリカ第一主義を掲げた政策や、ウクライナ侵略・中東紛争に対する突然の提言などもあり、不安定で不透明な状況にある。一方、国内では、長年続いたデフレからの脱却が視野に入るなど、日本経済は大きな転換点を迎えており、企業には「構造的な賃金引上げ」を目指し「人への投資」を一層加速し「成長と分配の好循環」を加速させることが求められている。このような時にこそ、富山県経営者協会が長年「企業と人」にフォーカスしてきた事業活動が、ますます重要になっており、富山で事業を営む経営者で構成する民間経済団体として、あるべき姿を自覚し、新たな行動をすることにより、存在価値を高めていく。そのために多様化する会員ニーズに対応した経営課題の研究と広報、労働生産性の向上、会員企業で働くすべての社員の能力向上を目的とする研修・セミナー等、事業活動を進め会員サービスの向上につなげていく。

#### 1. 企業経営に必要とするタイムリーな情報の収集と提供

- (1) 経営課題に関する調査研究と情報発信を行う。
- (2) 会員に必要な情報収集と発信を行う。
- (3) 人事労務、環境経営、人材育成に関する相談活動の充実に図る。

#### 2. 「企業と人」にフォーカスした委員会活動の推進

- (1) 委員会の役割・目的を明確にし、タイムリーな研究・情報発信を行う。
- (2) あらゆる業種・階層に応じた人材育成の研修・セミナーを企画・実施する。
- (3) 『人的資本経営による企業価値向上』をテーマに研究・情報発信を行う。

#### 3. 事業活動とサービスの幅を広げた会員相互の交流機会の支援

- (1) 総会、幹事会、地区懇談会を開催する。
- (2) 会員企業の見学会とビジネス交流の機会を提供・支援する。
- (3) 多様な交流機会を提供する。

#### 4. 会員ニーズに沿った事業活動とサービスの提供

- (1) 会員訪問活動を強化し、要望やニーズを踏まえた事業活動を実施する。
- (2) 研修・セミナーは実施後評価を踏まえて、スクラップ&ビルドを行う。
- (3) 企業の「稼ぐ力」に繋がる「人への投資」「労働生産性の向上」等、先進的事例のセミナーを開催する。

#### 5. 民間経済団体として機能発揮と地域社会発展への貢献

- (1) 会員状況把握、政策提言・要望活動を実施する。
- (2) 行政との連携と相互事業を実施する。
- (3) 経団連・他団体との情報連携を図る。

## 第5号議案 2024年度損益予算(案) 審議の件

・損益予算書(一般正味財産増減の部)

経常収益計 114,651,000円

経常費用計 121,420,000円

経常増減額計 △ 6,769,000円

(経常外増減の部)

経常外収益計 0円

経常外費用計 0円

経常外増減額計 0円

一般正味財産増減額 △ 6,769,000円

以上、2議案について、異議なく満場一致で承認された。

## 第6号議案 会費暫定値下げ期間終了の件

リーマンショック直後の2009年度から会費の暫定値下げを実施し、2013年度、2019年度には値下げ率を段階的に引上げ16年間に渡る会費暫定値下げ期間を終了し、2026年度より会費の額を正規会費1口11,000円とする。

以上、異議なく満場一致で承認された。

## 第7号議案 理事および監事選任の件

<理事候補者> 再=再任 新=新任

再 山下清胤 三協立山(株) 相談役

再 中西 誠 (株)トヨックス 代表取締役会長

再 品川祐一郎 トヨタモビリティ富山(株)

代表取締役社長

再 原 英明 (株)不二越 代表取締役専務執行役員

再 大門督幸 伏木海陸運送(株) 代表取締役社長

再 水谷和久 北陸電気工事(株) 代表取締役会長

再 小林聖子 Y K K(株) 副社長 黒部事業所長

再 高田和夫 トナミ運輸(株) 代表取締役社長

再 金岡克己 (株)スカイインテック 特別参与

新 高木章裕 (株)タカギセイコー 代表取締役社長

新 清澤 聡 コーセル(株) 取締役常務執行役員

再 寺山 収 一般社団法人富山県経営者協会

<監事候補者>

再 野村 充 (株)富山第一銀行 代表取締役頭取

再 中沖 雄 (株)富山銀行 代表取締役頭取

再 山地 清 富山信用金庫 理事会長

再 松村篤樹 あおぞら経営税理士法人 代表社員

以上、異議なく満場一致で承認された。

**閉会** 以上をもって、総会の議案はすべて異議なく満場一致で承認・決定され、15時40分に第80回定時総会を終了した。

# 理事会

## 4月理事会



4月23日(水)16時00分から、山下会長はじめ理事総数12名中8名、監事総数4名中3名が出席して、富山経協・研修室で開催した。

山下会長の挨拶のあと、①総会付議案件審議の件、②「TOTAMATCH運営事業」の受託、③「品質・生産性向上のための課題解決支援研修」の受託、④新会員承認の件について審議し、全員異議なく承認された。

また、役員人事について、理事の八十島清吉氏および谷川正人氏の2氏が退任し、(株)タカギセイコー

代表取締役社長 高木章裕氏、コーセル(株)取締役常務執行役員 清澤聡氏の2氏を新理事とする人事案が承認された。5月28日(水)の定時総会において正式決定する。

## 5月理事会

5月28日(水)15時45分から、山下会長はじめ理事総数12名中12名、監事4名中4名が出席して、富山国際会議場205号室で開催した。

議事に入る前に会長選定を行い、満場一致で山下理事が代表理事会長に選定され、山下会長が議長となり①役員人事(案)の件、②幹事選任(案)の件について審議し、全員異議なく承認された。



## 理事就任のご挨拶



株式会社タカギセイコー  
代表取締役社長

高木 章裕

この度は、当協会の理事にご選任いただき、誠にありがとうございます。思いがけぬ重責に身の引き締まる思いでございます。

現在、私たちはあらゆる分野で、大きな変革の波に直面しています。地球温暖化対策としてのカーボンニュートラルへの取り組みは喫緊の課題であり、企業活動においてもGXへの対応は不可欠です。また、国際情勢に目を向ければ、米国における通商政策の動向、特に関税政策がもたらす貿易問題は、サプライチェーンに大きな影響を与えかねません。そして、世界各地の地政学的リスクは、私たちの経済活動の先行きに不確実性をもたらしています。

一方、富山県においては昨今、少子高齢化、特に若年女性の県外流出という人口動態の課題が大きく取り上げられており、地域経済の活性化と持続可能性を考える上で、この問題への取り組みは急務であると認識しております。

このような国内外の状況において、経営者には多角的かつ長期的な視点が求められます。事業を取り巻く外部環境の変化を的確に捉え、迅速かつ柔軟に対応する危機管理能力、そして持続的な成長を可能にするためのイノベーションを追求する姿勢が不可欠です。

富山県経営者協会の一員として、皆様と共にこれらの課題解決に尽力し、富山県の経済発展に微力ながら貢献できますよう、誠心誠意努めてまいりたい所存です。何卒、ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

**略歴** 1969年生まれ。青山学院大学国際政治経済学部卒業後、1994年宇部興産(株)入社。2000年(株)タカギセイコーへ入社し、05年取締役、常務執行役員海外事業統括、16年代表取締役専務執行役員、副社長から、19年6月代表取締役社長。



コーセル株式会社  
取締役 常務執行役員

清澤 聡

この度、当協会の理事にご選任いただき、ありがとうございます。大変光栄に存じております。また同時に、当協会のこれまでの地域社会への貢献とともに、期待される役割を考えますと、その重責に身の引き締まる思いであります。

さて、昨今の国内経済は、ロシア・ウクライナ情勢の長期化、中東情勢の不安定化等からの様々な影響とともに、関税政策や為替変動の影響、原材料の高騰や少子高齢化による働き手の減少、気候変動や自然災害への対応のほか、DE&I推進、デジタル・AI活用など、様々な問題・課題に直面しています。

企業が、このような複雑に関連し合う、また正解なく、多岐にわたる問題・課題と対峙し、持続的に企業価値を高めていくためには、トップダウンによる一方的な指示や方針に基づく対応では機能しなくなってきています。組織内のメンバー全員がオープンなコミュニケーションを通じて知識や意見を共有するとともに、組織内のそれぞれの「人」が主体的に行動するとともに、その強みを活かし、組織として機能することが重要になってきているように思います。

このことは、まさに「人的資本経営」の実践にほかならず、「企業と人」という「仕事を通じた人づくり」に微力ながらお役に立てるよう努めてまいりたいと存じます。

今後ともご指導ご鞭撻のほど、何卒よろしくようお願い申し上げます。

**略歴** 1960年生まれ。金沢工業大学工学部卒業後、1983年エルコー(株) (現コーセル(株)) へ入社。2011年取締役 (営業統括、総務・人事労務担当兼TQM推進室長などを歴任)、2022年8月から取締役常務執行役員。

# 「日本を取り巻く世界経済・安全保障情勢」

～今後の動向を読み解く～

講師 ロールシャッハ・アドバイザー  
代表取締役  
東京国際大学 副学長 ジョセフ・クラフト 氏



## I トランプ関税の変化の裏側

トランプ関税が二転三転し、世界が混乱している。彼の心境を変えた3つのポイントを紹介する。

### (1) 支持率の低下

トランプの支持率が軒並み下がっている。大統領選で支持してくれた無党派層や、製造業が多いペンシルベニア州やラストベルトでの支持を失っているのは、政権にとっては気がかりだ。

一方、CBSの世論調査（4月）によると、実は政策を支持している人は結構多い。ゴール（目標）を支持するが51%、支持しないが49%。一方で、やり方や振舞いは37%が支持、63%が不支持。政策自体は結構評価されている。

トランプは11月の中間選挙を勝てないと言う人もいるが、実は、批判されている部分を改善すれば、まだ勝利もありうる。

### (2) 米国債の下落

4月2日に相互関税が発表されると金融市場は混乱し、債券、株、ドルが売られるトリプル安となり、10年国債の金利は2001年の9.11以来、30年債においては43年ぶりの大幅上昇となった。

急激な金利高騰は財政を圧迫しかねず、トランプが中間選挙に向けて最重要課題にしている減税法案が通らない可能性が強まり、4月9日に相互関税を90日間延長すると発表した。関税にこだわるトランプ大統領の思想を変えるほど、金融情勢、特に金利の国債市場が大きく揺らいだ。

もう一つ、国債の下落とともにドルの下落があった。米政権がドル安ドル高にこだわるのは、安全保障の含みが大きい。基軸通貨としてのドルの役割。外貨準備高におけるドルの比率が高いほど、ドルの影響力、すなわちアメリカの影響力が大きいということ。それが近年また下がり始めている。

当初、ベッセント財務長官は、ドル安がアメリカの輸出を助けるので為替も関税交渉の議題にしていたが、途中から為替は外した。国債市場が不安定な状況でドル安誘導政策を取ると、米国債が売られ、ドルがさらに売られる悪循環が生まれ、基軸通貨としてのドルの存在価値が薄れてしまう。アメリカの国家安全保障に関わるため、為替は関税交渉から外したという経緯がある。

もう一つ安全保障に関わることだが、米国債の最大保有者は日本。日本はこの10年間、約1兆ドル以上の米国債を保有している。中国は一時、米国債を日本よりも多く持っていたが、この10年間減らし続けている。3月にはイギリスに追い抜かれて3位に。アメリカにとって国債を買ってくれるのは、財政赤字を支えてくれる、あるいは投資してくれる国という意味で重要で、今回いち早くイギリスが関税交渉を締結したことには、この背景がある。

### (3) 物流の停滞

西海岸の3大港の1つロサンゼルス港では、中国に145%の相互

関税をかけて以降、中国からの貨物船がほとんど入らなくなった。これは、単に中国からの輸出品の値段が上がるというのではなく、そもそも中国からの物品が来ないので、米国内の小売、スーパーに商品が並ばない状況に陥る。9月の新学期や、年末に向け感謝祭やクリスマスなどを控え、中国からの輸入がなくなるのはアメリカにとっても死活問題だ。

大きくこの3つの要因から、トランプは関税を見直した。

## II 日米関税交渉

今、日米の関税交渉が行われているが、本質的には米米日日交渉だ。米米とは、最終的にベッセント財務長官がトランプ大統領を説得できるかがみそとなる。日本は、ベッセント長官と共に、トランプが何を受け入れてくれるかを一緒に考え、それをトランプに了承してもらうという状況にある。本来であれば、米側がやりたいことを日本側に伝えて交渉が始まるのだが、そもそも米側、トランプ大統領が何を求めているのかがよく分からないし、日々変わる。

日日とは、アメリカが当然求めてくる市場開放、規制緩和で、問題となってくるのが日本国内の既得権益を、石破政権がどこまで抑えられるかだ。

いずれにしてもトランプ大統領の一存で決まるので、そこが日本側として非常に難しいところだ。合意までに時間がかかるのは日米双方の経済にとって痛手となるの

で、遅くとも夏休み前の7月までに何とか合意にこぎ着けたい。

### Ⅲ ドル安政策を押し進めるのか

米政権内には、ドル安支持者と強いドル支持層の2つの勢力がある。ドル安支持者は、トランプ政権の大統領経済諮問委員会の委員長であるスティーブン・ミラン氏。トランプ1期目の通商代表、ロバート・ライトハイザー氏もそうだ。一方、強いドル派というのがベッセント財務長官。

なお、強いドル政策とは、ドル高ではない。2つポイントがあり、1つは基軸通貨であるドルの信頼を維持する。外貨準備高のドル比率50%以上を保ち、世界の貿易がドル中心で続くことが重要。2つ目は、経常収支が赤字である米国への安定的な投資を促す環境。つまり、米国債を買ってもらう。

この基軸通貨としてのドルの信頼と、国債市場への投資が活発であることが、強いドル政策だ。だから、この2つのポイントが守られていれば、ドル安になっても米政権としては問題はない。現段階でドル安誘導は不利になるので、米政府はドル安政策を推奨しようとはしていない。

日本政府として怖いのは、今の水準ではトランプは為替について注目していないが、何らかの理由でまた150円台となったときに、トランプからドル安政策だと言われるのが非常に怖い。そうすると140円で止まらず、130、120、下手したら100円割れという大きな相場につながっていくのが怖い。

### Ⅳ 中国とデフレ

中国経済は不動産問題で、2022年から急激にデフレとなり、中国市場はもうからなくなった。海外から中国への直接投資は2021年をピークに激減し、昨年マイナスに。

中国から国際資本が流出している。そこへトランプ関税が追い打ちをかけている。

こういう状況で、中国は経済を下支えするために輸出を増加させる。アメリカに売れなくなったものを日本やASEAN、ヨーロッパなどへ安価に輸出する。アメリカは関税でインフレリスクが高まるが、一方で世界はデフレに見舞われる可能性がある。

物が安く入ってくればありがたいじゃないかという、そう簡単にはいかない。中国からの安い電気自動車やソーラーパネルなどが、日本の中小企業の事業収益を圧迫する。そうすると、給与が上がらない、消費も上向かない悪循環に陥る。

### V 台湾有事

私は、今年2025年は台湾有事元年と呼んでいる。中国と台湾とのあつれきが徐々に高まり、2027年に何か大きな出来事に発展しかねないということからだ。

#### (中国の安全保障姿勢)

習近平は2017年の第19回党大会で、国を強くすると掲げて、最優先事項の安全保障の一丁目一番地を、台湾との統一とした。

2027年というのは、ペンタゴン(アメリカ国防総省)の高官が、27年度までに中国海軍がアメリカ軍を上回ると話しているのと、習近平が前回20回党大会で、軍に27年までに台湾進攻ができる体制を整えろと指示を出した。

これを受け中国は様々な国家強靱化政策を発表していく。反スパイ法、ゼロコロナ、IT企業の締めつけ、共同富裕、戦狼路線、経済威圧、主権・領土といったことを次々にやってくる。当然、経済成長は大事だが、選択を迫られた場合、習近平は安全保障をとる。

それは、彼の存在意義が安全保障にあるから。つまり、台湾統一ができなければ彼の存在意義はない。どこかの時点で台湾統一を成し遂げないと、彼は権力の座にいられないという焦りがある。

今、中国共産党の中央委員会の常務委員7名(チャイナセブン)と、中国軍を指揮する7名(ミリタリーセブン)の全員が、習近平派閥あるいは習近平に近い人で占められている。党と軍を掌握し、独裁体制ができた。習近平が台湾侵攻を命じれば、中国はすぐに動く体制にある。

#### (日本の対応)

それに対し日本政府は2022年10月、統合作戦司令部を立ち上げた。有事のとき、自衛隊の陸海空部隊を指揮し、米軍など他国軍と連携する部隊で、ここが司令塔になって全部を動かせる。日本の安全保障にとって大きな変化だ。

もう一つ、日本国内にある自衛隊の14指令基地を今年の年末までに全て地下化する。ロシアはウクライナにまずミサイルで地上にある軍の指揮命令系統を攻撃した。つまり、もし中国が台湾に侵攻した場合、日本にある自衛隊の指揮基地を攻撃するリスクに、日本政府は備えている。

台湾有事は決して空想ではない。私の想像では、中国は兵糧攻めのように物資が届かないようにする。これは日米にとっては難しく、国際社会では兵糧攻めは戦争行為とみなしておらず、米軍がこれを破っていくと戦争行為となる。

さらにもう一つ、私の臆測にすぎないが、中国は米国債をこの10年間、売り越している。中国保有の米国債がゼロに近づいたときが、台湾侵攻のバロメーターになるのではないかと推測している。

# 調査報告

## 2025年春季賃金改定状況調査



## 裏切らない品質が信頼に 世界へ広がる電子部品支える機能めっき

立山電化工業株式会社  
代表取締役社長

園 晶 雄 氏



今年が創業80年となります。

終戦直後の1945年12月に、父の園直龍がめっき工場を引き継いで創業し、農機具や自転車の部品、雨傘などのめっき加工を始めました。経済復興とともに装飾めっきの需要が高まり、県内に増え始めた電子機器メーカーの電子部品の仕事も入るようになりました。

1969年、小矢部市に大手自動車メーカーの二輪工場が進出したの

を機に設備を強化し、外装部品の装飾やさび止めのためのめっき加工の全てを請け負うようになりました。一時はオートバイ部品が売上高の3分の2を占めるほどでしたが、その後ヘルメットの着用義務化や自動車の普及による生産台数の減少、生産拠点の海外移転も進む中で、私が社長に就いた翌年の1987年にオートバイを含む装飾めっきからの撤退を決め、電子部

品に特化することにしました。

**選択と集中で電子部品に舵を切られたわけですね。**

電子部品は高いレベルの品質が求められるので、それに応えるための努力を重ねてきました。リールに巻かれた材料を連続的に処理する「フープめっき装置」を1981年に北陸で初めて導入した時は、大きな投資に金融機関を含めて周囲からは「大丈夫か」と心配されました。以降、めっきの対象もコネクタピンやトランジスタ、抵抗器、ICへと広がり、電子関連部品の表面処理が順調に成長してきました。パソコンのCPUに使われるピンのめっきは2000年代には、お客様の世界シェアに絡む仕事をさせて頂くこともできました。

**現在はどのような状況ですか。**

パソコンの設計が変わり、主力はスマートフォン向けや自動車向け電子部品に移っており、極小部品の必要な部分に径1mm以下の「スポットめっき」を行うものもあります。

売上げ比率は、コネクタ向けフープめっきが3割、抵抗器向けが3割、基板向けが2割で、その他も電子関連です。

### －付加価値の創造と追求－

経営理念は「付加価値の創造と追求を推進し、顧客から必要とされ続ける企業となり、新たな発展を追求し、社会への貢献をし続ける」と、うたっておられます。

要するに「逃げるな、諦めるな」ということです。当社の仕事は、次々と世に出る新たな製品にめっきをしたいというお客様の要望に応えてお手伝いをすることです。これまで新しいチャレンジをする中で、不良が発生して「もうだめ

か」と思うことも幾度とありましたが、社員が寝ずに頑張ったり、駆けつけてくれた薬品メーカーの方が指導してくれたりして、乗り切ってきました。困難な仕事の中で技術を学び、品質保証の勉強もさせてもらいましたし、お客様の言葉が当社を育ててくれました。

また、信頼関係のある薬品メーカーの方が、技術力のあるめっき先を探しているという電子部品会社に当社を紹介していただき、事業拡大のきっかけになりました。

社長としては社員を信じて、いかにうまく仕事をしてもらうか。管理職各位が経営の中核となり社員を引っ張っていける会社を目指してきました。経営方針の策定も10年程前から、幹部に任せるようにしています。

その上で私の仕事は、集まった情報の中で経営判断することと、思い切った決断ができる財務体質にしておくことだと考えています。

### －多能工化で補い合う－

2022年に富山県の「働き方改革実践モデル企業」に選定されました。

総務部をモデルとして、属人化している仕事をみんなができるようにしようと、経理や人事などの業務の多能工化を図り、補助し合える体制を構築しました。

また、自分の業務状況を、スマイル(余裕がある)と、泣き顔(忙

しい)のイラストをデスクに置くことで表示し、余裕がある人が電話対応を率先してするようになり、毎日の朝礼を夕礼に変えることで、残っている業務を手伝う取り組みを始め、残業が減りました。

### 製造現場ではどうですか。

当社ではまず現場を経験してもらい、新入社員にも「色々やってみようことになる」と言っています。管理職はみんな複数部署を経験してきていますし、総務の男性社員も現場を経験します。営業部でも品質保証部から異動した社員が活躍しています。

大きな会社ならスペシャリストを育てることもできるのですが、当社の規模では「この人がいなくなったら困る」ということは避けなければいけません。色々な仕事に就くことで性格や適性が分かりますし、上のポジションに就いたときにも役立ちます。新たな仕事や仕事量の変動に対応できる人材が多く育っていると感じています。

多能工化が図られていますね。人材育成はどのように取り組んでいらっしゃるのでしょうか。

「かよう塾」という社員が講師を務める社員向けの研修を、年間20講座開設しています。例えば、「基板の知識」では当社が扱っている部品について担当以外の人も学べ、「会計」では、総務の人だけでなく、

役職者や興味のある社員にも習得してもらっています。講師として教える社員の力量が上がることも同時にねらっています。

さらに、品質保証部でも必要があるからと、「電話対応」の講習をして欲しいという要望が出て、営業部の対応力の高い社員が講師となり教えてくれています。

### 今後の事業展望を教えてください。

お客様の新製品づくりの要望に応えるのが当社の役目です。電子部品はどんどん小さく難しくなる中で、お客様からどれだけ宿題をもらえるか、つまり新しい情報をもらえるか。その期待に応えていくことが信頼に繋がります。この積み重ねのお陰で、コスト面で一旦他社に移ったお客様が「やはり立山電化でお願いします」と戻ってこられた仕事もあります。

現在はスマホ向けが主力ですが、自動車部品にも力を入れるため自動車産業の品質規格「IATF」の取得を目指しています。また、60歳以上の人が働きやすい工場づくりも考えています。

### 座右の銘をお伺いします。

「これでいいと思ったら終わり」と肝に銘じてきました。精神的にも肉体的にもそうですが、会社も同じで、まずは引っ張る人間がその姿を見せないといけません。

### 会社概要

#### 立山電化工業株式会社

創業：1945(昭和20)年12月  
所在地：高岡市赤祖父546番地  
資本金：5,700万円  
事業内容：コネクタ、抵抗器、基板、端子向けのめっき処理  
従業員数：190名(2025年4月現在)  
売上高：37億円(2025年1月現在)  
事業所：新湊工場  
U R L：www.tateyamadenka.co.jp

### 略歴

1955年9月高岡市生まれ。東京医科大学在学中の1977年に(株)コヤマケミカルへ入り、1980年立山電化工業(株)に入社。1986年から代表取締役社長。



## 職場における熱中症対策の強化について（2025年6月1日施行）

労働安全衛生規則の一部を改正する省令（2025年厚生労働省令第57号）については、2025年4月15日に公布され、同年6月1日から施行されました。その改正の趣旨、内容等については、下記のとおりです。

事業者は、熱中症のおそれがある労働者を早期に見つけ、その状況に応じ、迅速かつ適切に対処することにより、熱中症の重篤化を防止するため、『2. 事業者が講ずべき措置等』に記載の「体制整備」、「手順作成」、「関係者への周知」に関する2つの事項が義務付けられます。

### 1. 改正の趣旨

#### 職場における熱中症による死亡災害の傾向

- ・死亡災害が2年連続で30人レベル
- ・熱中症は死亡災害に至る割合が、他の災害の約5～6倍
- ・死亡者の約7割は屋外作業であるため、気候変動の影響により更なる増加の懸念



《 ほとんどが「初期症状の放置・対応の遅れ」 》

#### 早急に求められる対策

「職場における熱中症予防基本対策要綱」や「STOP！熱中症クールキャンペーン実施要項」で実施を求めている事項、現場で効果を上げている対策を参考に、

**現場において、死亡に至らせない（重篤化させない）ための適切な対策の実施が必要**

### 2. 事業者が講ずべき措置等

#### (1) 「熱中症の自覚症状がある作業員」や「熱中症のおそれがある作業員を見つけた者」がその趣旨を報告するための体制整備及び関係作業員への周知

※報告を受けるだけでなく、職場巡視や2人以上の作業員が作業中に互いの健康状態を確認するバディ制の採用、ウェアラブルデバイス等の活用や双方向での定期連絡などにより、熱中症の症状がある作業員を積極的に把握するように努めること。

#### (2) 熱中症のおそれがある労働者を把握した場合に迅速かつ的確な判断が可能となるよう、

- ① 事業場における緊急連絡網（責任者）、緊急搬送先の連絡先及び所在地等の明示
- ② 作業離脱、身体冷却、医療機関への搬送等熱中症による重篤化を防止するために必要な措置の実施手順の作成及び関係作業員への周知

### 3. 熱中症を生ずるおそれのある作業

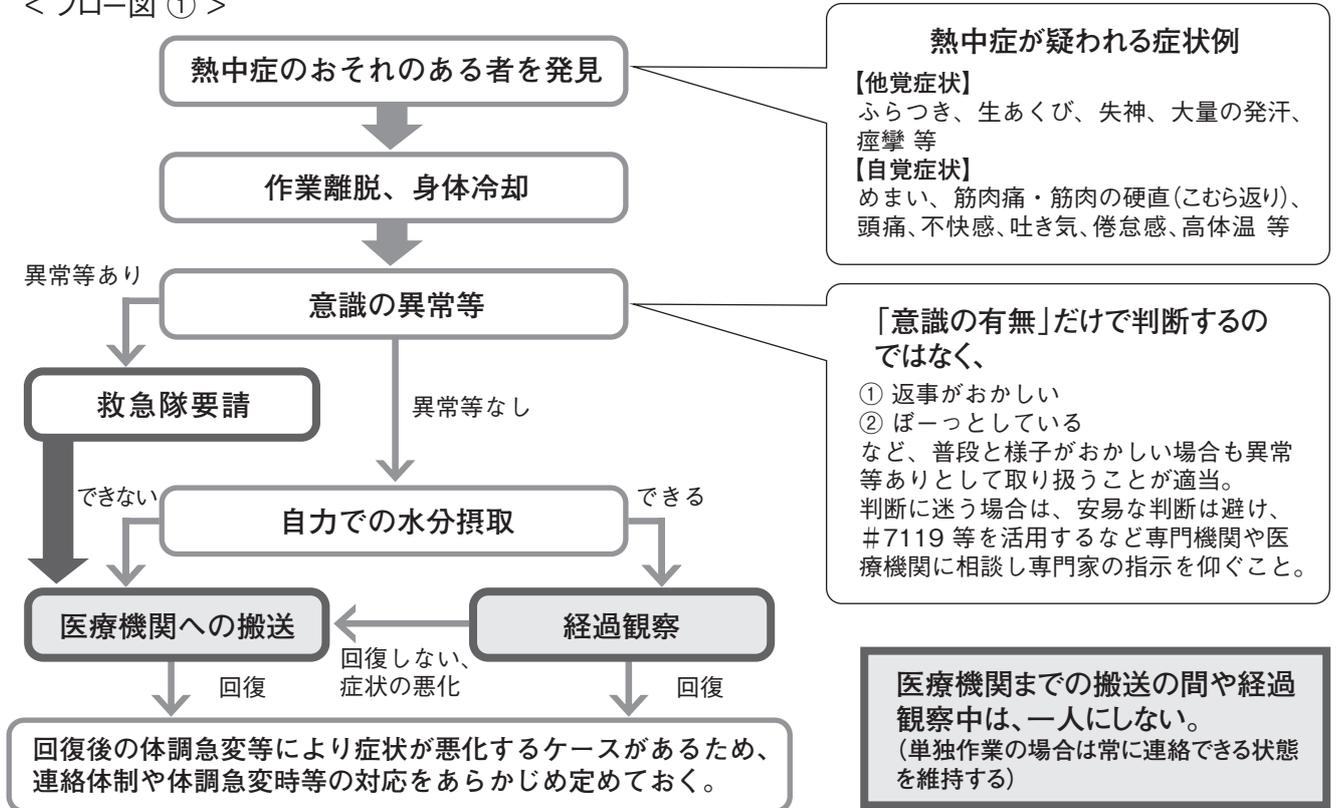
WBGT（暑さ指数）28度以上または気温31度以上の環境下で、連続1時間以上または1日4時間超の実施が見込まれる作業

※作業強度や着衣の状況等によっては、上記の作業に該当しない場合であっても熱中症のリスクが高まるため、上記に準じた対応を推奨する。

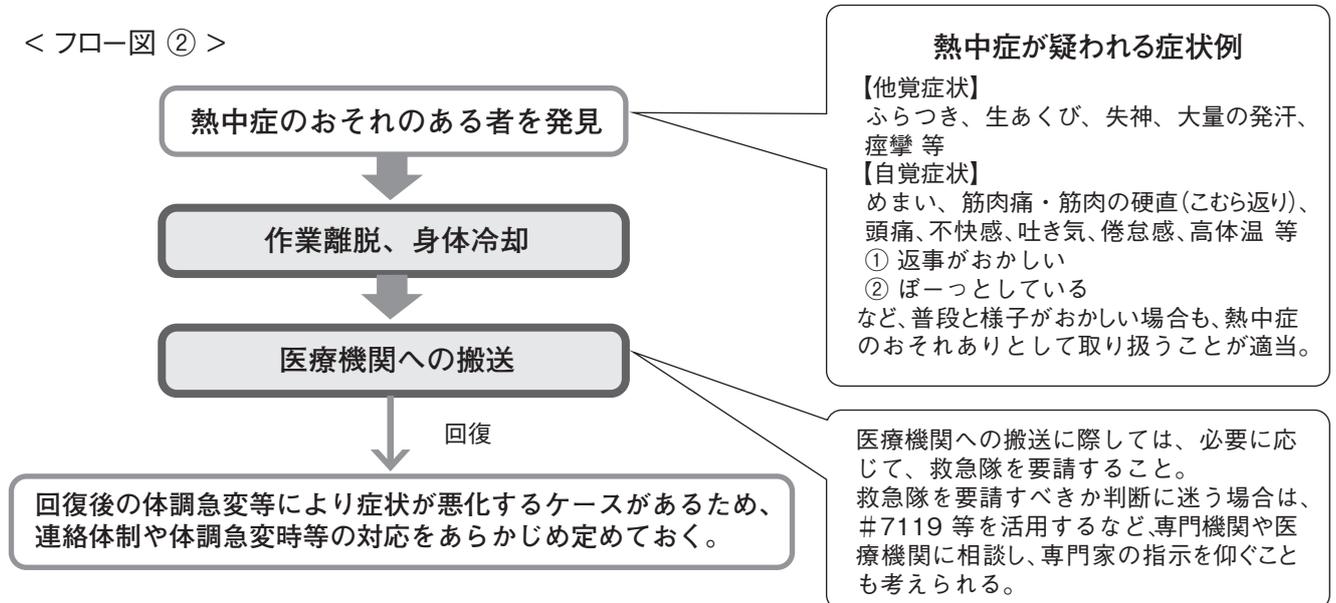
※同一の作業場において、労働者以外の熱中症のおそれのある作業に従事する者についても、上記対応を講ずることとする。

## 4. 熱中症のおそれのある者に対する処置の参考例

< フロー図 ① >



< フロー図 ② >



出典：厚生労働省リーフレット「職場における熱中症対策の強化について」より

### 「人事・労務出前相談室」のご案内 <1申込みにつき初回無料>

会員企業の皆さまを対象とした、人事・労務に関する出前相談を、1申込みにつき、初回無料でお受けいたします。詳しくは、当協会ホームページの「お知らせ」をご覧ください。

# 事業活動報告

2025年4月10日～6月9日

(OL) = オンライン併用開催

事業名	委員会名	開催日	場所	参加人数	
会 議	環境委員会「幹事会」	環 境	4月21日(月)	富山経協・研修室	12名
	理事会		4月23日(水)	富山経協・研修室	11名
	人事・労務政策委員会「幹事会」	人事・労務政策	5月12日(月)	富山経協・研修室	8名
	定時総会		5月28日(水)	富山国際会議場 2階201～204号室	140名
	理事会		5月28日(水)	富山国際会議場 2階205号室	16名
	講演会		5月28日(水)	富山国際会議場 3階メインホール(OL)	209名
講 座 ・ セ ミ ナ ー	品質管理入門講座<基礎編>	品質管理	4月10日、17日、24日(木) 5月8日(木)	富山経協・研修室	29名
	営業力強化研修	教 育	4月15日(火)・16日(水)	富山経協・研修室	22名
	仕事の基本「報連相」セミナー	教 育	4月22日(火)	富山経協・研修室	54名
	人事・労務管理セミナー<第1回>	人事・労務政策	5月13日(火)	富山経協・研修室	15名
	ISO14001内部監査員養成講座	環 境	5月14日(水)・15日(木)	富山経協・研修室	35名
	実践しながら学ぶ統計的手法活用講座	品質管理	5月22日(木)、30日(金)	富山経協・研修室 / タワー 111ビル4階	29名
	職場リーダー基本コース	教 育	5月20日(火)・21日(水)	富山経協・研修室	48名
	職場リーダー基本コース<追加開催>	教 育	5月22日(木)・23日(金)	タワー 111ビル 4階ギャラリー	48名
ヒューマンエラー対策講座<実践編>	品質管理	6月3日(火)・4日(水)	富山経協・研修室	46名	

## 委員会活動

### 人事・労務政策委員会

#### ■ 幹事会

5月12日(月)、大門委員長はじめ幹事8名が出席し、富山経協・研修室で開催した。

大門委員長挨拶の後、事務局より委員等の交代について報告した。今年度の事業活動計画案の審議に入り、定例委員会では、第1回は6月17日に見学先を立山科学(株)とし、教育委員会との合同開催。第2回(8月28日)は、経団連労働

法制本部 鈴木本部長を講師に「労働法制の改正の動向」と題する講演会と意見交換。第3回(12月)の富山県協力の講演会では、「企業と従業員のウェルビーイング創出事業」の「男性育休の取得促進、男性の家事・育児参画促進コース」を選定。そして、第4回(来年2月)の人材確保に向けた情報交換会では、特定社会保険労務士の森真弓氏の講演とグループワーク等を通



じて、各社が抱える課題等について情報共有を図る。その他の計画案についても、具体的な実施内容を審議した。

### 環境委員会

#### ■ 幹事会

4月21日(月)、小田委員長はじめ幹事12名が出席して、富山経協・研修室で開催した。

小田委員長の挨拶後、報告事項として、人事異動に伴う幹事・委員の交代と2025年度事業計画書について確認した。続いて審議事項

として、①6月「県内企業見学会」の見学先、②7月「富山県との情報交換会」の依頼内容、③9月「委員相互の情報交換」の内容と進め方、④10月～11月「県外企業見学会」の見学先、⑤2025年度「環境保全活動」について審議し、2025年度の具体的な事業活動の内容を協



議した。

### 階層別研修

#### ■ 職場リーダー基本コース

5月20日(火)・21日(水)、48名が参加して、富山経協・研修室で開催した。好評につき、5月22日(木)・23日(金)にも48名が参加してタワー111ビル4階ギャラリーで追加開催した。

本研修は、職場リーダー・リーダー候補者を対象に、求められる「仕事と人のマネジメント」と「コミュニケーション」に関する理論とスキルを学ぶことをねらいとし

ている。

(公財)日本生産性本部中小企業診断士の吉濱洋平講師は、事前課題を用いて具体的な職場課題の解決に向けた演習に取り組む姿勢を示した上で、①職場リーダーとしての立場と役割、②業務の管理、③コミュニケーション(傾聴力、質問力、プレゼンテーション力)、④協働(チームビルディング、リーダーシップ、フォロワーシップ)について講義した。



受講者はグループ演習で意見交換をしながら理解を深め、最後に研修での学びや自己課題を明確化した。

### 共通

#### ■ ISO14001内部監査員養成講座 ＜5月開催＞

5月14日(水)・15日(木)の2日間にわたり、35名が参加して富山経協・研修室で開催した。

この講座は、自社の「環境マネジメントシステム」を公正かつ客観的に評価できる優秀な内部環境監査員の養成を目的に、毎年5月・9月の年2回開催している。

講師はインターテック・サーテ

ィフィケーション(株)研修部 五味憲一氏が担当し、1日目は内部監査を行う上で必要な監査規格を学ぶ座学を中心に行われた。2日目は、監査の発見事項に対する適合・不適合をグループで判断することや、監査を受ける側と審査側に分かれてロールプレイングを行うなどグループディスカッションを中心に行い、実際の内部監査を想定し、効果的な監査の手順・方法で



内部監査のポイントについて学んだ。最後に修了試験を行い、受講者全員が無事修了証を手にした。

#### ■ ヒューマンエラー対策講座 ＜実践編＞

6月3日(火)・4日(水)の2日間で46名が参加して富山経協・研修室で開催した。

講師の(公財)日本生産性本部主席経営コンサルタント 矢島浩明氏は、ヒューマンエラー対策は安全管理に始まり品質管理の領域でも多くの研究がされてきたが、「人はエラーをするもの」であることは不変であり、現状でも絶対的対策は困難なことから、日常的な

活動を通じて意識を高め、維持していくことが重要であるとし、安全管理の基礎知識やヒューマンエラーの分類と再発防止対策について講義した。

また、ケーススタディでは「安全管理とヒューマンエラー」、「原因追求と再発防止」、「死亡事故発生」の3つのテーマについてグループ演習を行い、業種も立場も違う受講者たちが、共通のテーマでお互いに気づき、学び合うことで理解を深めた。最後に「自社の



ヒューマンエラーについて考える」個人演習を行い、学んだ内容の活用について発表した。

■仕事の基本『報連相』セミナー

4月22日(火)に54名の新入社員および若手社員が参加して、富山経協・研修室で開催した。

講師の(株)フォーワン代表取締役の羽田野正博氏と同取締役の羽田野泰氏は、会社という組織の一員として「仕事ができるひと」になるために、まず望ましい仕事の考え方と進め方を理解すること、報連

相がそのための重要なツールであることを強調。①報告のポイントとしては、情報の整理、TPOに合わせた報告、そして中間報告を忘れないこと、②連絡のポイントとして、状況により連絡手段と内容を使い分け、悪い情報ほど早く伝えること、③相談のポイントとして、5W2Hを整理してから相談する、結果報告が信頼関係を高



めることなどを、事例も参考にしながら学んだ。



参加者NOTES

「仕事の基本『報連相』セミナー」  
を受講して  
北日本物産株式会社  
管理部総務課



渡辺 レイ

今回のセミナーでは、「報連相」について、正しい「きき方」の重要性やそれぞれの要素を行う際のポイントについて深く理解することができました。

まず、「仕事とは何か」というテーマから始まりました。仕事とは「相手の役に立つこと」であり、「やるべきこと」とあるという基本的な考え方を改めて認識しました。そして、仕事を円滑に進める上で、「コミュニケーション」や「コミュニケーションスキル」が不可欠であり、報連相を効果的に行うためにもこれらのスキルが重要であると学びました。

特に印象に残ったのは、指示や命令を受ける際の「きき方」についてです。「聞く(耳で聞こえている状態)」、「訊く(自分から尋ねる)」、「聴く(相手の意図や気持ちを受け止める)」という3つの「きく」の違いを理解し、中でも「聴く」姿勢の重要性を感じました。上司や先輩の話をつただ聞くだけでなく、メモを取りながら全身で受け止める「聴く」ことが大切だと学びました。特にメモを取る際には「5W2H」の視点を意識し、具体的かつ正確に記録することがポイントだと学びました。記憶に頼らず、必要な情報はその都度確認を取る

姿勢を今後意識していきたいと思いました。

また、報告には「結果報告」「経過報告」「トラブル報告」の3種類があり、それぞれに応じてタイミングを逃さず、早めに行うことが大切だと学びました。連絡では、状況に応じた手段や内容の使い分け、特に悪い情報ほど早く伝えることの重要性を理解しました。相談については、5W2Hで状況を整理してから行い、相手の状況やタイミングを配慮することで、よりの確なアドバイスを得られると学びました。

今回のセミナーを通して、報連相を適切に行うためには、日頃からのコミュニケーションスキルが大切であると実感しました。今後は、これらを意識しながら業務に取り組み、信頼される社会人を目指していきたいです。

労務管理

■人事・労務管理セミナー(第1回)

5月13日(火)、「自社賃金水準検証と人件費分析セミナー」と題して、人事・労務の管理職および管理担当者を中心に15名が参加し、富山経協・研修室で開催した。

講師の(公財)日本生産性本部雇用システム研究センター研究主幹村上和成氏は、①賃金の基礎的理解、②自社賃金「水準」検証の手

法、③賃金における「生計費」の重要性、④自社賃金支払い能力の検証、⑤春季賃金交渉でのポイントについて、具体事例を交え、分かりやすく解説した。講義中は講師とのキャッチボール形式による質問が幾つも飛び交い、受講者からは大変有意義であったとの評価にあわせ、多くの受講者が今後、他者へも受講を推奨したいといった



大好評のセミナーであった。

## 品質管理

### ■品質管理入門講座<基礎編>

4月10日(木)～5月8日(木)での全4日間の日程で、29名が参加して富山経協・研修室で開催した。

本講座は、初めて品質管理を学ぶ人を対象に、より効果的に改善を進めるために不可欠である「品質管理の考え方」と、問題の発見・解決に役立つ「QC7つ道具の使い方」について学ぶことを目的に毎年開催しており、今回で68回目となる。

講師にM&P研究所とやま所長の竹村稔氏を迎え、「品質管理の考え方」と「QC7つ道具の使い方」について、3日間の日程で講義と演習を通じて学んだ。

最終日は会場をタワー111ビル3階スカイホールに移し、総合実習として「紙飛行機を遠くに飛ばそう!」をテーマに、紙飛行機をどうしたら遠くに飛ばすことが出来るかを、講義で学んだ品質管理手法を用いて、現状把握から要因



解析、対策立案と効果の確認のステップを小集団活動で取り組んだ。最後に修了試験を行い、受講者全員が無事、修了書を手にした。

### ■実践しながら学ぶ

#### 統計的手法活用講座

5月22日(木)～11月27日(木)までの15日間の日程で、富山経協・研修室で29名が参加して開講した。

本講座は、品質管理、生産技術、開発の担当スタッフ・技術者を対象に、問題解決に必要な統計的品質管理(SQC)の手法を学ぶとともに、自職場での実際の問題をテーマに選定し、講師のカウンセリングを受けながら、学んだ手法

を駆使して問題解決に取り組み、その内容を研究論文にまとめることを目的に毎年開催しており、今回で69回目の開催となる。

初日の5月22日(木)は、「品質管理概論」の講義に加え、他企業の受講生と仕事の内容、進め方などの意見交換を通し、人材交流を図りながら真剣に学んだ。第2日目の5月30日(金)は、昨年度の優秀研究論文者が模範発表を行った後、受講者は5つのグループに分



かれ、第1回目のカウンセリングとして、各自の研究テーマと活動計画について発表し、今後の進め方について講師のアドバイスを受けた。

## 営業

### ■営業力強化研修

4月15日(火)・16日(水)、22名が参加して、富山経協・研修室で開催した。本研修は、経験年数5年未満の営業担当者を対象に営業の基本的な流れから双方の利益の総和が最大となるWin-Winの合意形成(コンセンサス)を図るための交渉力を身につけることを狙いに開催した。

講師の(株)インソース大西雄一氏は、企業環境が激しく変化する中でビジネスを成功に繋げるために

は、顧客の期待に答えながらも自社の提供できる価値を示し、双方が納得する「交渉力」がますます重要になっているとした上で、1日目は営業活動における基本的な知識と流れを講義し、営業プロセスについて演習を行いながら実践的に学んだ。2日目は交渉について、①事前準備の重要性を理解する、②相手の気持ちを多面的に考え、柔軟な対応ができるようになる、③双方の妥協点を探り、コンセンサス(合意)を得るための話し



方を身につけるなどのスキルを説明し、ケーススタディを用いたグループ討議とロールプレイングによる実践的な演習を通じて、さまざまな視点・考え方を学んだ。

## 会員の動き

(50音順)(敬称略)

### ■ 代表者の変更 (窓口代表者)

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 富山支店  
支店長 西村 徳浩 (前:河合正樹)

### アイシン軽金属株式会社

取締役社長 古村 清志 (前:西川一浩)

### 株式会社加積製作所

代表取締役社長 福元 知幾 (前:福元勝博)

### 公益財団法人産業雇用安定センター 富山事務所

所長 荒木 一秋 (前:太田智志)

### シンコー精機株式会社

取締役社長 高橋 正芳 (前:稲垣稔之)

### 助野株式会社

代表取締役社長 小野 剛司 (前:助野一郎)

### ダイドードリンコ株式会社 中部営業部北陸オフィス

中部営業部部長 開 清文 (前:堀内良宏)

### テクノメタル株式会社

代表取締役社長 広瀬 公彦 (前:磯部琢哉)

### 日本海ガス株式会社

代表取締役社長 新田洋太郎 (前:土屋 誠)

## 新会員の紹介

### ■ 株式会社ソアロン 富山工場

所在地 富山市海岸通り3 三菱ケミカル富山事業所内

代表者 取締役工場長 越智 亮

設立 2024年(令和6年)11月

資本金 1億円

従業員 県内120名

事業内容 トリアセテート繊維(製品名:SOALON)の製造・販売

### ビニフレーム工業株式会社

代表取締役社長 吉沢 伸剛 (前:熊倉克一)

### 明治安田生命保険相互会社 富山支社

支店長 永野 真 (前:碓井 順)

### ■ 役職位の変更 (窓口代表者)

### 株式会社ユニゾーン

取締役 梅田ひろ美 (前:代表取締役会長)

## 叙勲ご受章

おめでとうございます

## 旭日単光章

株式会社松村成型  
代表取締役社長

松村 浩史 氏

## 瑞宝双光章

社会福祉法人わかば福祉会

理事長 小島 伸也 氏



表紙の花  
サラセニア

(富山県中央植物園 園長 中田政司)

### 傘のような雌しべの先

食虫植物のサラセニアの花はとても変わっています。

冬の眠りから覚めると、丸い球のような蕾を着けた花茎が何本も伸びてきて、直径6~7cmの大きな花を咲かせます。花は點頭(うなずいて下を向くこと)して咲くので、5枚のがく片が一番上に位置します。その下に5枚の花弁がありますが、柔らかいので下に垂れています。基部に多数の雄しべがありますが、最も変わっているのは真ん中の大きな雌しべです。

写真で緑色の傘を広げたような恰好をしているのが雌しべの先で、花弁はその隙間から下に垂れています。花弁と雄しべは短命ですぐに散ってしましますが、がく片と雌しべは硬くしっかりしているので、花弁が散った後も長く残り、まるで花が咲いているように見えます。

### 落とし穴式の筒状の捕虫葉

花が終わると葉が伸びてきます。

はじめは平たい棒のような形ですが、だんだんと膨らんで筒状になり、やがて先端が開いてフードのついた落とし穴が完成します(写真)。捕虫葉の縁からは蜜や甘い香りが分泌されるので虫が誘われてやってきますが、入口は滑りやすくなっているので、止まろうとすると滑って穴の中に落ちてしまいます。

筒状の葉の内側には逆向きの毛が生えているので這い上がることができず、やがて中の水に溺れてしまいます。この水には消化酵素が含まれていて、昆虫の体の窒素分やリンが栄養として吸収されていきます。

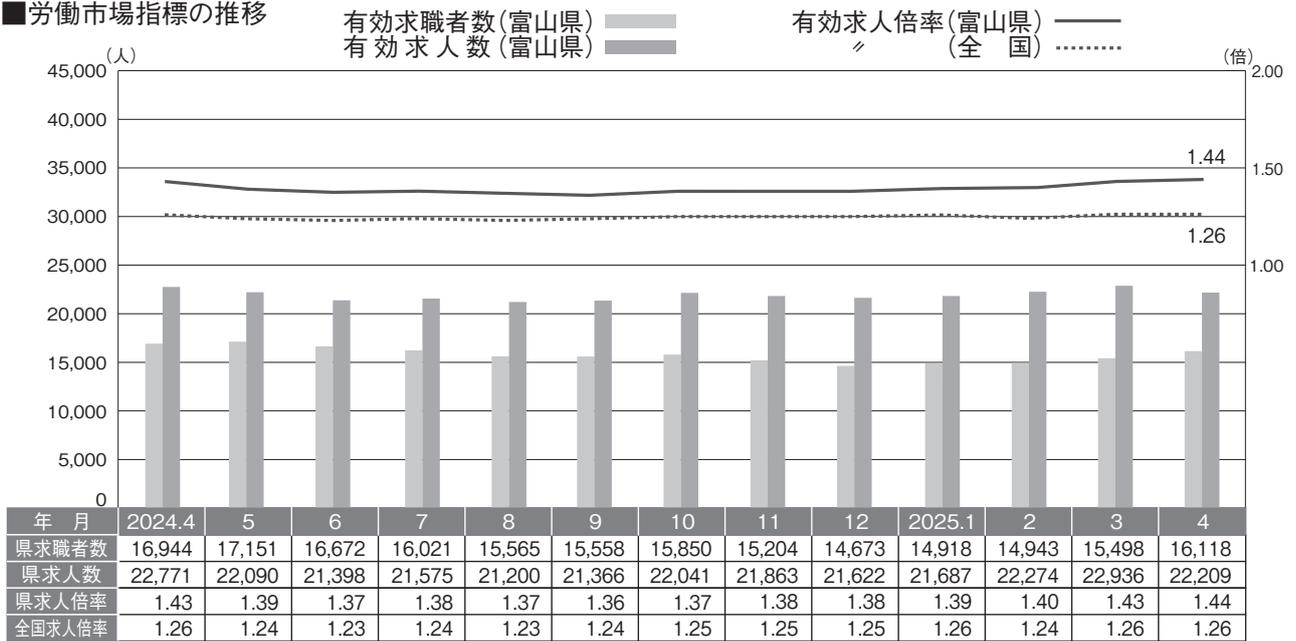
捕虫葉の完成より先に花が咲くのは、花粉を運ぶ昆虫を捕らえてしまわないようにと進化した結果かもしれません。

サラセニアの捕虫葉▶



# 労働指標

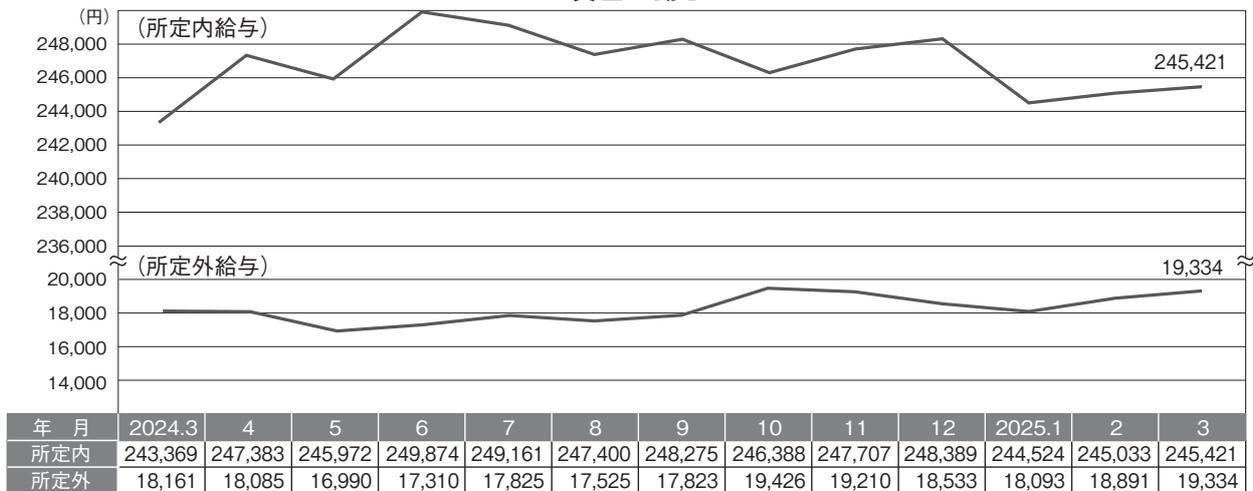
## 労働市場指標の推移



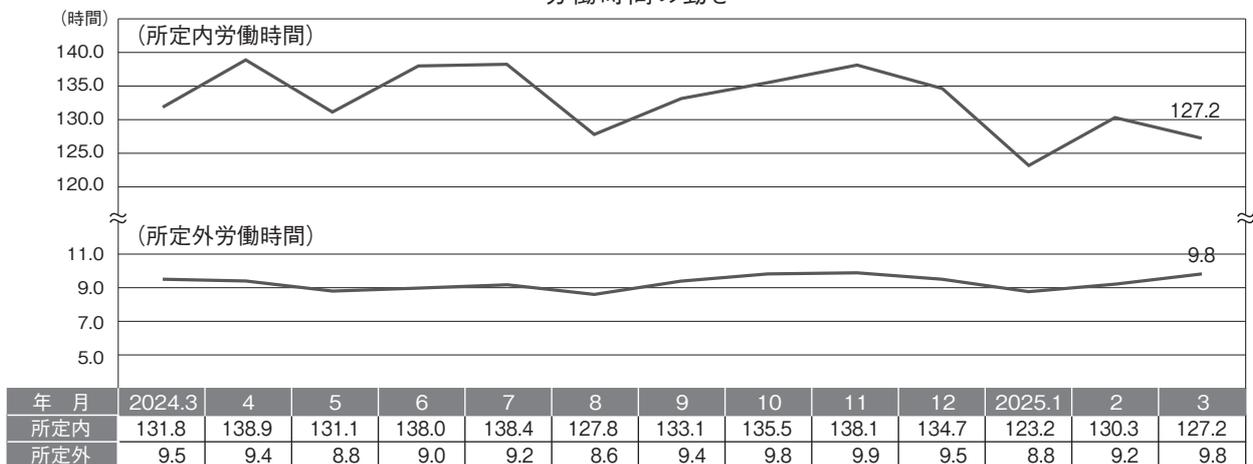
出典：富山労働局「労働市場月報」[https://jsite.mhlw.go.jp/toyama-roudoukyoku/jirei\\_toukei/shokugyou\\_shoukai/toukei.html](https://jsite.mhlw.go.jp/toyama-roudoukyoku/jirei_toukei/shokugyou_shoukai/toukei.html)  
注) 2023年12月以前の有効求人倍率の数値は新季節指数により改定されています。

## 賃金・労働時間の動き(調査産業計、事業所規模：5人以上)

### 賃金の動き



### 労働時間の動き



出典：とやま統計ワールド「毎月勤労統計調査 地方調査月報」<https://www.pref.toyama.jp/sections/1015/index2.html>

# 7月25日(金) 西部地区会員懇談会

場 所：ホテルニューオータニ高岡 4階 鳳凰

高岡市新横町1番地 電話(0766)26-1111

16:00～17:30 講演会

テーマ：「人口減少社会下の人材戦略」

講 師： 独立行政法人労働政策研究・研修機構 研究総監  
慶應義塾大学 名誉教授 樋口 美雄 氏

17:40～19:00 懇親会

## 事業予定

2025年 6月13日～8月15日

詳しくはホームページ(<https://www.toyama-keikyo.jp/>)  
「講座・セミナー案内」をご覧ください。

OL=オンライン併用開催

	開催日	時間	事業名	委員会名	場 所
会 議	6月17日(火)	14:00～16:00	人事・労務政策委員会、教育委員会合同 「企業見学会・定例委員会」	人事・労務政策 教 育	立山科学(株)本部工場
	6月26日(木)	15:00～17:30	経営企画・IT委員会「定例委員会」	経営企画・IT	富山経協・研修室
	7月 8日(火)	15:00～17:00	環境委員会「定例委員会・情報交換会」	環 境	富山経協・研修室
	7月11日(金)～12日(土)		北陸三県・長野県役員協議会		石川県
	7月15日(火)	14:00～16:30	品質管理委員会「企業見学会・定例委員会」	品質管理	コーセル(株)立山工場
	7月25日(金)	16:00～19:10	西部地区会員懇談会 上記「おしらせ」参照		ホテルニューオータニ高岡
	7月29日(火)	16:30～17:30	総務交流委員会「定例委員会」	総務交流	富山電気ビル
見学会	6月19日(木)	14:00～15:30	環境委員会「県内企業見学会」	環 境	北陸ココロラボダク(株)砺波工場
講 座 ・ セ ミ ナ ー	6月13日(金)、27日(金) 7月10日(木)、24日(木) 8月7日(木)	9:00～17:00	実践しながら学ぶ統計的手法活用講座	品質管理	富山経協・研修室 タワー111ビル 2階研修室1
	6月17日(火)・18日(水)	9:00～17:00	ものづくり現場改善実践セミナー	品質管理	富山経協・研修室
	6月19日(木)	13:30～16:00	労働法実務講座(第1回)	人事・労務政策	富山経協・研修室 OL
	6月24日(火)・25日(水)	9:30～16:30	管理職基礎コース	教 育	富山経協・研修室
	7月 2日(水)・ 3日(木)	9:30～16:30	職場リーダー入門コース【A日程】	教 育	タワー111ビル 3階スカイホール
	7月 9日(水)・10日(木)	9:30～16:30	職場リーダー入門コース【B日程】	教 育	タワー111ビル 4階ギャラリー
	7月11日(金)、 17日(木)～18日(金)	8:45～17:00	部課長実践講座	品質管理	富山経協・研修室 インテック大山研修センター
	7月15日(火)	9:30～16:30	購買管理実践セミナー	教 育	富山経協・研修室
	7月23日(水)	9:30～16:30	会議の生産性を向上するビジネス・ファシリテーター養成講座	教 育	富山経協・研修室
	7月29日(火)	9:30～16:30	なぜなぜ分析活用セミナー(基本コースA日程)	品質管理	富山経協・研修室
	7月30日(水)	9:30～16:30	なぜなぜ分析活用セミナー(基本コースB日程)	品質管理	富山経協・研修室
	8月 5日(火)	9:30～17:00	品質・生産性向上のための課題解決支援研修	品質管理	富山経協・研修室
	8月 6日(水)	9:30～16:00	財務会計の基礎講座	教 育	富山経協・研修室

「富山経協」vol.889

2025年(令和7年)6月号  
2025年6月15日発行(隔月発行)

一般社団法人 富山県経営者協会

〒930-0856 富山市牛島新町5番5号(タワー111ビル 1階)  
TEL (076) 441-9588 FAX (076) 441-9952

ホームページ <https://www.toyama-keikyo.jp/>  
Eメール [info@toyama-keikyo.jp](mailto:info@toyama-keikyo.jp)